

難民キャンプ周辺荒廃森林等保全・復旧プログラム策定事業(継続)

【平成21年度予算額 36,983(44,845)千円】

事業のポイント

森林の劣化等が問題となっている難民キャンプ周辺において住民参加型の森林保全・復旧の技術指針を作成します。

(事業の背景等)

- ・ アフリカなどの難民キャンプでは特定の地域への難民の集中による燃料材の伐採等により周辺に所在する森林の急激な劣化等が見られ、キャンプ撤退後も荒廃したまま放置された状態となっている。
- ・ 難民キャンプ周辺の森林はいったん荒廃すれば自然に回復することが困難なところが多く、難民受け入れ国の持続可能な森林経営の実現に多大な支障が生じる可能性がある。

政策目標

事業対象国の持続可能な森林経営に同事業がどれだけ寄与したかについて最高度の評価を獲得。

(5段階評価のアンケート調査を実施し、事業対象国から最高点の評価値を得る。)

< 内容 >

1. 難民キャンプ周辺荒廃森林等保全・復旧技術指針の作成

難民キャンプ周辺の森林の荒廃状況について把握・分析を行い、森林等の保全・復旧の技術指針について作成します。

2. 難民キャンプ周辺森林等保全・復旧活動の実施

荒廃森林等の保全・復旧の実証モデル林を造成し、技術指導や森林管理についての普及を行います。また、地域住民を対象としたワークショップを開催し、持続可能な森林経営についての普及啓発を行います。さらに、関係機関やNGO向けに荒廃森林等の保全・復旧プログラムを作成します。

< 補助率 >

定額

< 事業実施主体 >

民間団体

< 事業実施期間 >

平成18年度～22年度(5年間)

[担当課 : 林野庁計画課]